

平成23年度
第3回市政モニターアンケート

障害福祉施策について

北九州市市民文化スポーツ局広聴課

目 次

調査の概要	1
市政モニターの構成	1
調査結果	2
【障害のある方への理解や関心について】	
(1) 障害のある方との交流経験の有無	2
(2) 障害のある方との交流の具体的な内容	3
(3) 障害のある方と交流した経験がない理由	4
(4) 障害者福祉への関心の程度	5
(5) 障害者福祉に「大変関心がある」理由	6
(6) 障害者福祉に「ある程度関心がある」理由	7
(7) 障害者福祉に関する言葉の認知度	8
(8) 障害のある方に対する差別・偏見を感じるか	10
(9) どのようなところに差別・偏見を感じるか	11
【障害のある方に対するボランティア活動について】	
(10) 障害のある方に対するボランティア活動の経験の有無	12
(11) どのようなボランティア活動を経験したか	13
(12) ボランティア活動に参加したことがない理由	14
(13) ボランティア活動を活発にするために必要なこと	15
【今後、必要な障害福祉施策について】	
(14) 社会のバリアフリー化を進めるために必要な地域の環境の整備について	16
(15) 今後、北九州市が障害福祉施策充実のため力を入れるべきことについて	18
(16) 北九州市の障害福祉施策についての意見	20
全体考察	22

調査の概要

調査対象者	市政モニター 150人		
回答者数	135人(回収率 90.0%)		
調査実施日	平成23年6月20日～平成23年7月4日		
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査		
調査実施課	市民文化スポーツ局広聴課	582-2525	
調査依頼課	保健福祉局障害福祉課	582-2424	

市政モニターの構成

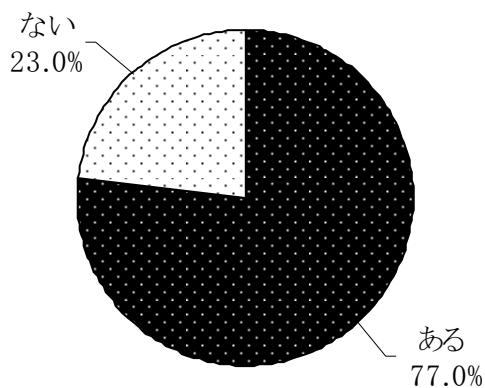
区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150 (100.0%)	50 (33.3%)	100 (66.7%)	区 別			
				門司区	23 (15.3%)	6 (4.0%)	17 (11.3%)
20歳代	21 (14.0%)	5 (3.3%)	16 (10.7%)	小倉北区	28 (18.7%)	7 (4.7%)	21 (14.0%)
30歳代	42 (28.0%)	12 (8.0%)	30 (20.0%)	小倉南区	34 (22.7%)	13 (8.7%)	21 (14.0%)
40歳代	28 (18.7%)	5 (3.3%)	23 (15.3%)	若松区	11 (7.3%)	6 (4.0%)	5 (3.3%)
50歳代	15 (10.0%)	4 (2.7%)	11 (7.3%)	八幡東区	12 (8.0%)	4 (2.7%)	8 (5.3%)
60歳代	25 (16.7%)	12 (8.0%)	13 (8.7%)	八幡西区	35 (23.3%)	11 (7.3%)	24 (16.0%)
70歳以上	19 (12.7%)	12 (8.0%)	7 (4.7%)	戸畑区	7 (4.7%)	3 (2.0%)	4 (2.7%)

数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

Ⅲ 調査結果

【障害のある方への理解や関心について】

問1 あなたは、今までに障害のある方に接したり、交流したりした経験がありますか。

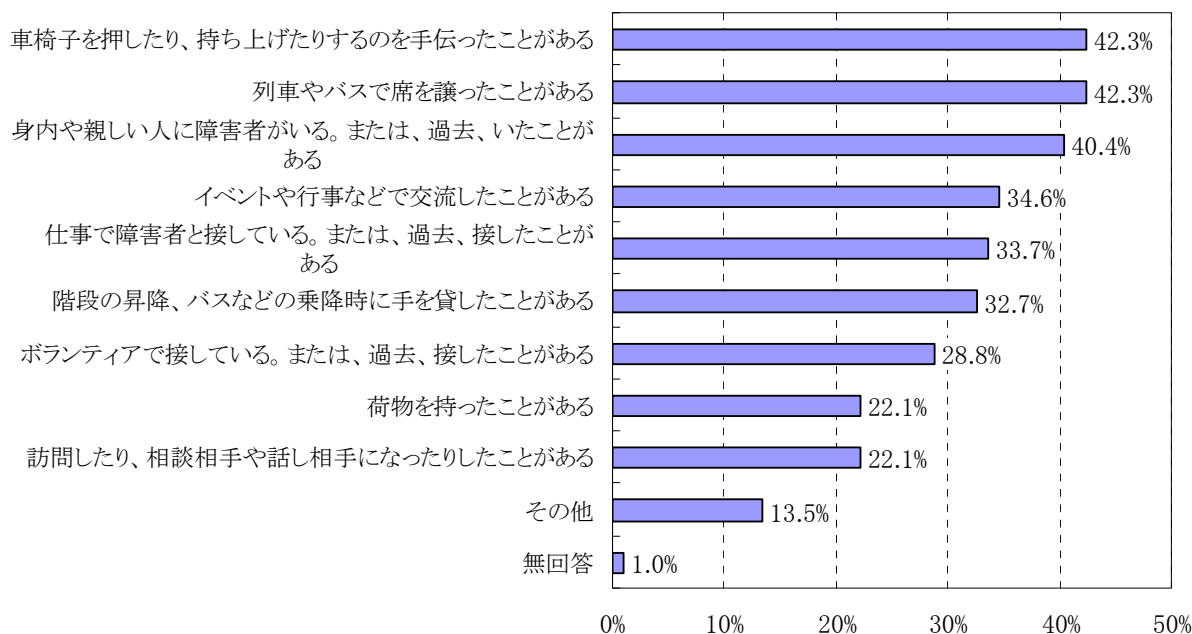


		回答者数	ある	ない
全体		135人	77.0%	23.0%
性別	男性	45人	75.6%	24.4%
	女性	90人	77.8%	22.2%
年齢別	20歳代	19人	73.7%	26.3%
	30歳代	38人	71.1%	28.9%
	40歳代	26人	88.5%	11.5%
	50歳代	14人	85.7%	14.3%
	60歳代	23人	82.6%	17.4%
	70歳以上	15人	60.0%	40.0%
	区別	門司区	22人	86.4%
小倉北区		25人	68.0%	32.0%
小倉南区		28人	67.9%	32.1%
若松区		10人	80.0%	20.0%
八幡東区		12人	75.0%	25.0%
八幡西区		31人	83.9%	16.1%
戸畑区		7人	85.7%	14.3%

障害のある方に接したり、交流したりした経験があると回答した方は、77.0%であった。男女別に見ると、「男性」が75.6%、「女性」が77.8%であり、差はなかった。年齢別に見ると、40歳代から60歳代の割合が高く80%を超えていた。

<問1で「1 ある」と答えた方におたずねします>

問2 それは具体的にどのようなことですか。

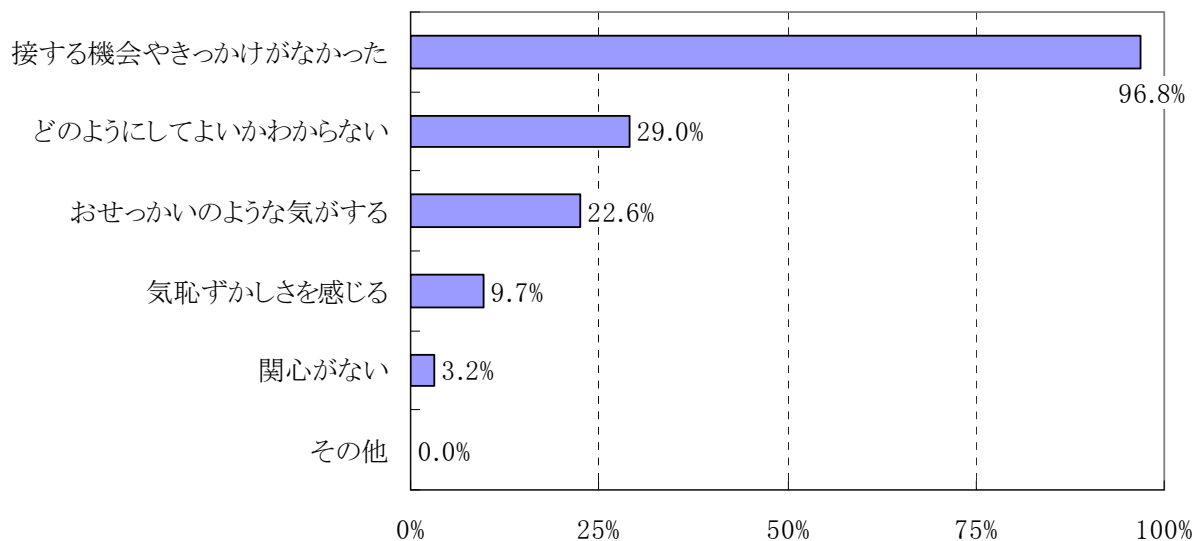


	回答者数	車椅子を押したり、持ち上げたりするのを手伝ったことがある	列車やバスで席を譲ったことがある	身内や親しい人に障害者がいる。または、過去、いたことがある	イベントや行事などで交流したことがある	仕事で障害者と接している。または、過去、接したことがある	階段の昇降、バスなどの乗降時に手を貸したことがある	ボランティアで接している。または、過去、接したことがある	荷物を持ったことがある	訪問したり、相談相手や話し相手になったりしたことがある	その他	無回答	
全体	104人	42.3%	42.3%	40.4%	34.6%	33.7%	32.7%	28.8%	22.1%	22.1%	13.5%	1.0%	
性別	男性	34人	41.2%	38.2%	41.2%	38.2%	41.2%	26.5%	38.2%	29.4%	26.5%	14.7%	0.0%
	女性	70人	42.9%	44.3%	40.0%	32.9%	30.0%	35.7%	24.3%	18.6%	20.0%	12.9%	1.4%
年齢別	20歳代	14人	42.9%	35.7%	57.1%	28.6%	42.9%	35.7%	7.1%	14.3%	7.1%	7.1%	0.0%
	30歳代	27人	33.3%	33.3%	37.0%	33.3%	25.9%	25.9%	22.2%	11.1%	11.1%	18.5%	0.0%
	40歳代	23人	34.8%	39.1%	47.8%	26.1%	26.1%	21.7%	26.1%	13.0%	17.4%	8.7%	4.3%
	50歳代	12人	58.3%	41.7%	41.7%	50.0%	41.7%	50.0%	50.0%	41.7%	41.7%	8.3%	0.0%
	60歳代	19人	47.4%	42.1%	26.3%	36.8%	47.4%	26.3%	31.6%	36.8%	36.8%	10.5%	0.0%
	70歳以上	9人	55.6%	88.9%	33.3%	44.4%	22.2%	66.7%	55.6%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
区別	門司区	19人	68.4%	63.2%	47.4%	47.4%	31.6%	52.6%	47.4%	42.1%	47.4%	10.5%	0.0%
	小倉北区	17人	23.5%	35.3%	47.1%	29.4%	29.4%	23.5%	23.5%	11.8%	17.6%	5.9%	5.9%
	小倉南区	19人	42.1%	31.6%	26.3%	21.1%	21.1%	26.3%	15.8%	31.6%	15.8%	26.3%	0.0%
	若松区	8人	37.5%	25.0%	25.0%	50.0%	62.5%	12.5%	37.5%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%
	八幡東区	9人	55.6%	55.6%	33.3%	55.6%	33.3%	66.7%	44.4%	11.1%	33.3%	22.2%	0.0%
	八幡西区	26人	34.6%	38.5%	50.0%	23.1%	30.8%	19.2%	15.4%	7.7%	7.7%	3.8%	0.0%
	戸畑区	6人	33.3%	50.0%	33.3%	50.0%	66.7%	50.0%	50.0%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%

障害のある方に接したり、交流したりした経験の具体的な内容は、「車椅子を押したり、持ち上げたりするのを手伝ったことがある」、「列車やバスで席を譲ったことがある」、「身内や親しい人に障害者がいる。または、過去、いたことがある」が多く、40%を超えていた。一方、「ボランティアで接している。または、過去、接したことがある」、「訪問したり、相談相手や話し相手になったことがある」は低く、特に20歳代では、7.1%に止まっていた。

<問1で「2 ない」と答えた方におたずねします>

問3 接した経験がない理由は何ですか。

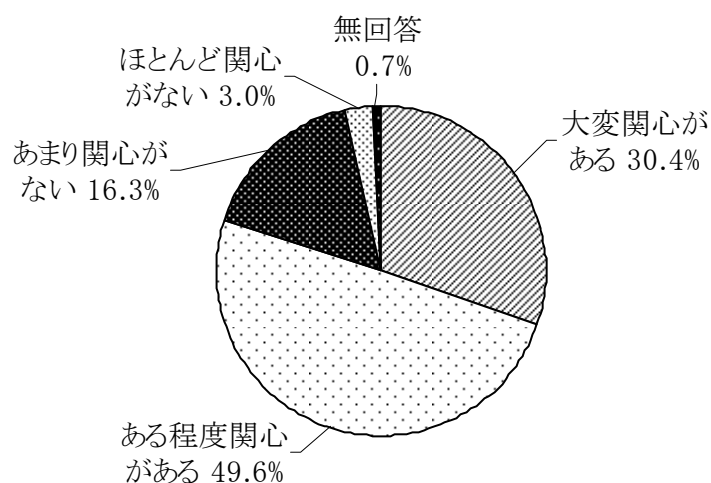


		回答者数	接する機会やきっかけがなかった	どのようにしてよいかわからない	おせっかいのような気がする	気恥ずかしさを感じる	関心がない	その他
全体		31人	96.8%	29.0%	22.6%	9.7%	3.2%	0.0%
性別	男性	11人	90.9%	27.3%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%
	女性	20人	100.0%	30.0%	15.0%	5.0%	0.0%	0.0%
年齢別	20歳代	5人	100.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	11人	90.9%	27.3%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%
	40歳代	3人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	50歳代	2人	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	4人	100.0%	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	6人	100.0%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
区別	門司区	3人	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	小倉北区	8人	100.0%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	小倉南区	9人	88.9%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	若松区	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	3人	100.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
	八幡西区	5人	100.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	戸畑区	1人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

障害のある方に接したり、交流したりしたことがない理由は、「接する機会やきっかけがなかった」が96.8%と圧倒的に多かった。

年齢別に見ると、30歳代を除いた全ての世代で100%、区別に見ると、小倉南区を除いた全ての区で100%の方が「接する機会やきっかけがなかった」と回答した。

問4 あなたは、障害者福祉に関心をお持ちですか。

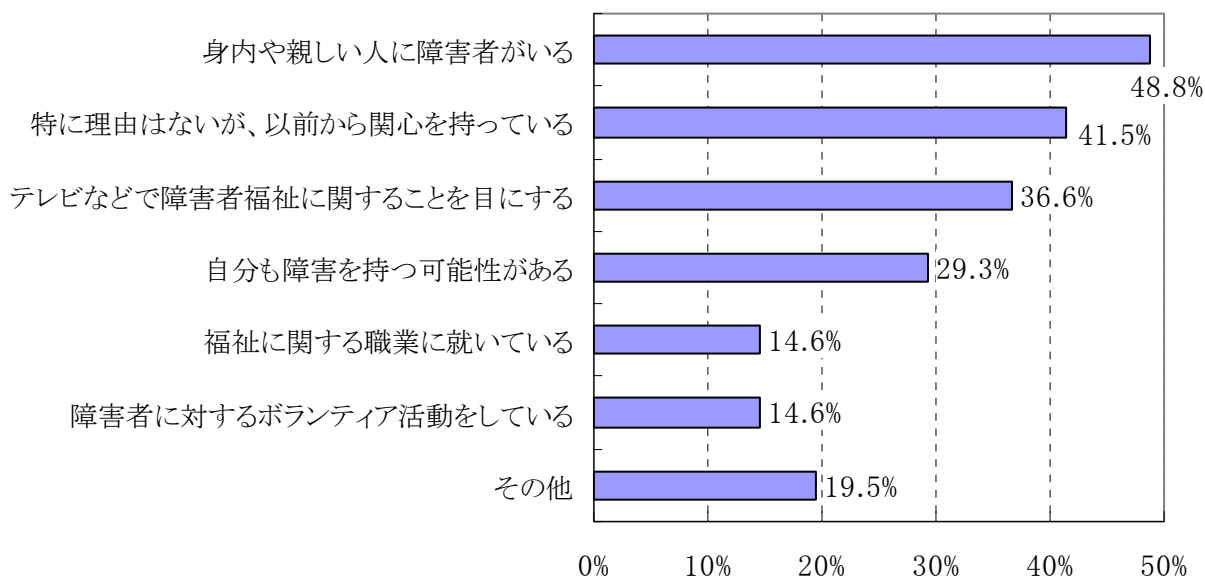


		回答者数	大変関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	ほとんど関心がない	無回答
全体		135人	30.4%	49.6%	16.3%	3.0%	0.7%
性別	男性	45人	26.7%	53.3%	13.3%	4.4%	2.2%
	女性	90人	32.2%	47.8%	17.8%	2.2%	0.0%
年齢別	20歳代	19人	26.3%	42.1%	26.3%	5.3%	0.0%
	30歳代	38人	15.8%	52.6%	23.7%	7.9%	0.0%
	40歳代	26人	34.6%	53.8%	11.5%	0.0%	0.0%
	50歳代	14人	28.6%	50.0%	21.4%	0.0%	0.0%
	60歳代	23人	47.8%	47.8%	4.3%	0.0%	0.0%
	70歳以上	15人	40.0%	46.7%	6.7%	0.0%	6.7%
区別	門司区	22人	59.1%	31.8%	9.1%	0.0%	0.0%
	小倉北区	25人	12.0%	68.0%	16.0%	0.0%	4.0%
	小倉南区	28人	32.1%	42.9%	17.9%	7.1%	0.0%
	若松区	10人	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	12人	33.3%	33.3%	25.0%	8.3%	0.0%
	八幡西区	31人	9.7%	67.7%	19.4%	3.2%	0.0%
	戸畑区	7人	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%

障害者福祉への関心において、
 関心がある人（大変関心がある（30.4%）+ある程度関心がある（49.6%））が80.0%
 関心がない人（あまり関心がない（16.3%）+ほとんど関心がない（3.0%））が19.3%
 であった。

<問4で「1 大変関心がある」と答えた方におたずねします>

問5 どのような理由から関心をお持ちですか。



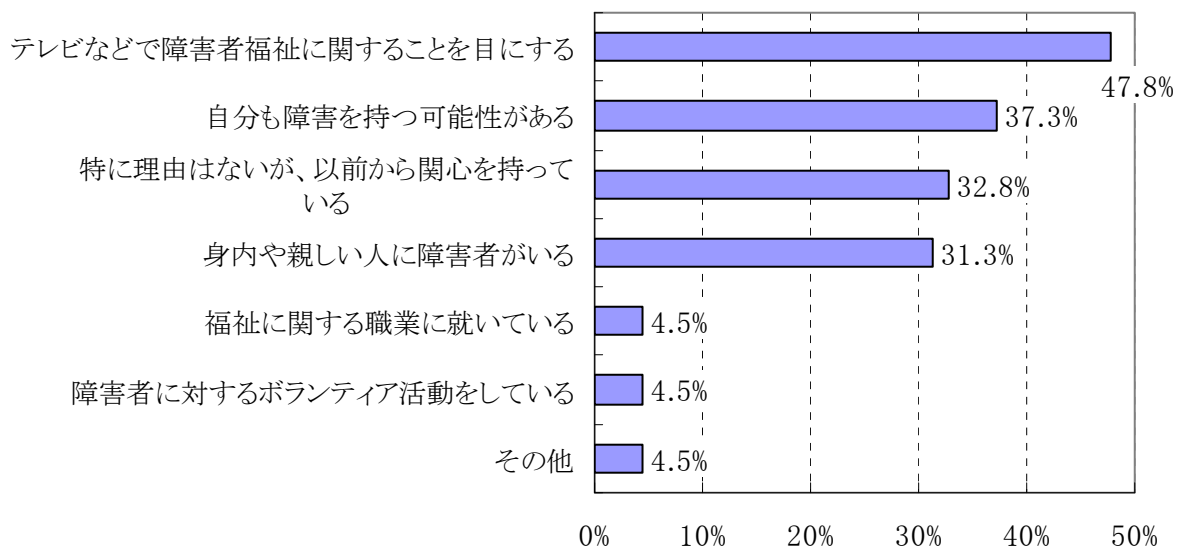
	回答者数	身内や親しい人に障害者がいる	特に理由はないが、以前から関心を持っている	テレビなどで障害者福祉に関することを目にする	自分も障害を持つ可能性がある	福祉に関する職業に就いている	障害者に対するボランティア活動をしている	その他	
全体	41人	48.8%	41.5%	36.6%	29.3%	14.6%	14.6%	19.5%	
性別	男性	12人	25.0%	58.3%	41.7%	16.7%	8.3%	33.3%	41.7%
	女性	29人	58.6%	34.5%	34.5%	34.5%	17.2%	6.9%	10.3%
年齢別	20歳代	5人	80.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	6人	66.7%	33.3%	50.0%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%
	40歳代	9人	55.6%	33.3%	44.4%	44.4%	11.1%	22.2%	33.3%
	50歳代	4人	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%
	60歳代	11人	45.5%	45.5%	27.3%	45.5%	0.0%	9.1%	36.4%
	70歳以上	6人	16.7%	83.3%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%
区別	門司区	13人	46.2%	53.8%	38.5%	23.1%	15.4%	23.1%	23.1%
	小倉北区	3人	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	9人	22.2%	55.6%	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%
	若松区	4人	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%
	八幡東区	4人	50.0%	50.0%	75.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%
	八幡西区	3人	66.7%	33.3%	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	66.7%
	戸畑区	5人	60.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%

障害者福祉に大変関心があると回答した方が関心を持っている理由は、「身内や親しい人に障害者がいる」が最も多く、48.8%となっている。

一方、「福祉に関する職業に就いている」及び「障害者に対するボランティア活動をしている」は14.6%であった。

<問4で「2 ある程度関心がある」と答えた方におたずねします>

問6 どのような理由から関心をお持ちですか。

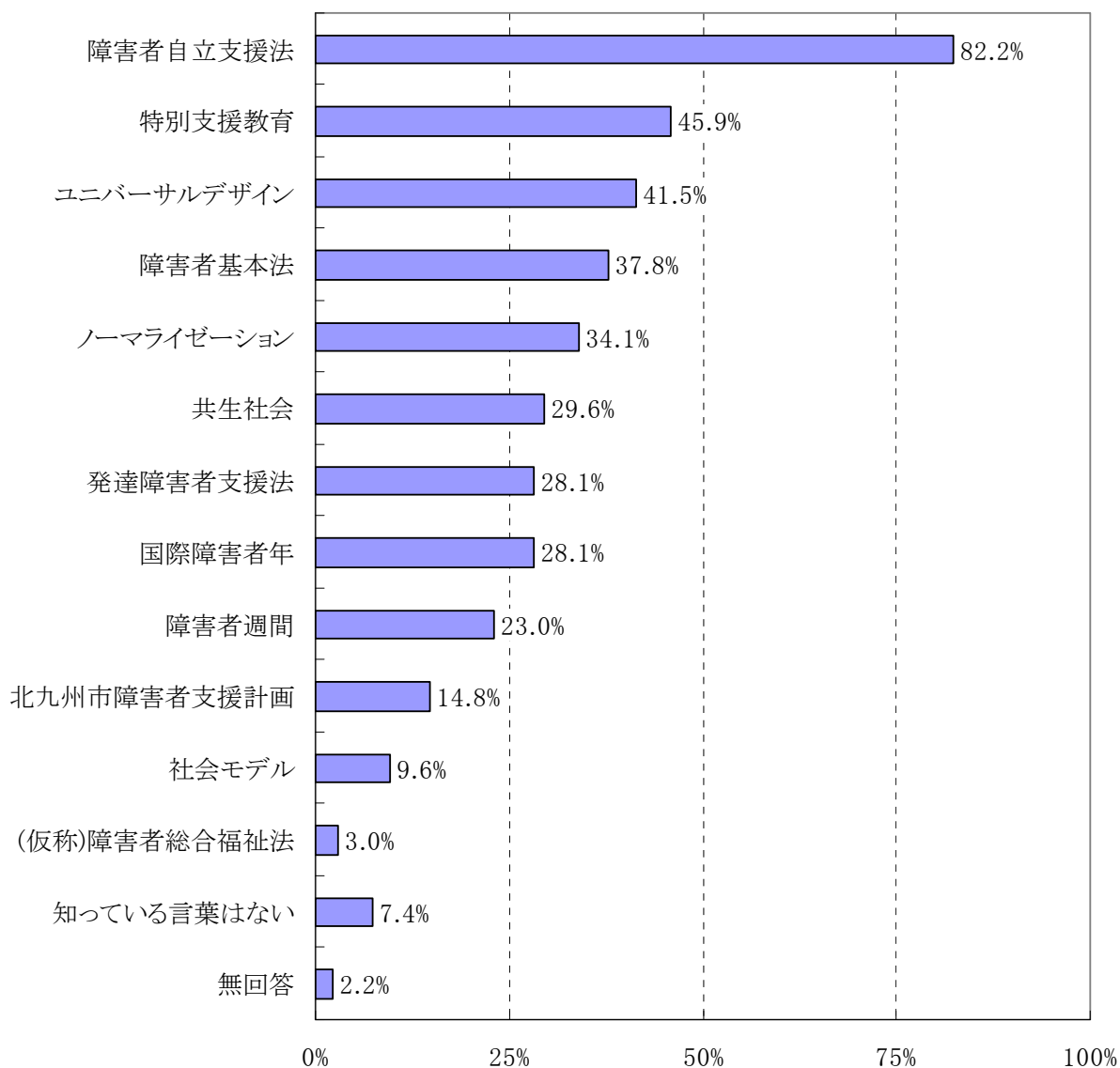


	回答者数	テレビなどで障害者福祉に関することを見る	自分も障害を持つ可能性がある	特に理由はないが、以前から関心を持っている	身内や親しい人に障害者がいる	福祉に関する職業に就いている	障害者に対するボランティア活動をしている	その他	
全体	67人	47.8%	37.3%	32.8%	31.3%	4.5%	4.5%	4.5%	
性別	男性	24人	37.5%	41.7%	33.3%	29.2%	4.2%	8.3%	4.2%
	女性	43人	53.5%	34.9%	32.6%	32.6%	4.7%	2.3%	4.7%
年齢別	20歳代	8人	50.0%	25.0%	12.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	20人	40.0%	50.0%	45.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	14人	35.7%	14.3%	21.4%	35.7%	7.1%	7.1%	14.3%
	50歳代	7人	57.1%	57.1%	28.6%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%
	60歳代	11人	54.5%	36.4%	45.5%	18.2%	0.0%	9.1%	9.1%
	70歳以上	7人	71.4%	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	7人	71.4%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%
	小倉北区	17人	35.3%	11.8%	41.2%	29.4%	5.9%	11.8%	0.0%
	小倉南区	12人	33.3%	33.3%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	若松区	4人	25.0%	50.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	4人	75.0%	75.0%	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	八幡西区	21人	52.4%	52.4%	19.0%	42.9%	4.8%	0.0%	0.0%
	戸畑区	2人	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

障害者福祉にある程度関心があると回答した方が関心をもっている理由は、「テレビなどで障害者福祉に関することを見る」が最も多く、47.8%であった。

一方、「福祉に関する職業に就いている」及び「障害者に対するボランティア活動をしている」が4.5%と低く、「大変関心がある」と回答した方と同様の傾向である。

問7 次の障害福祉に関する言葉のうち、あなたが知っている言葉はどれですか。

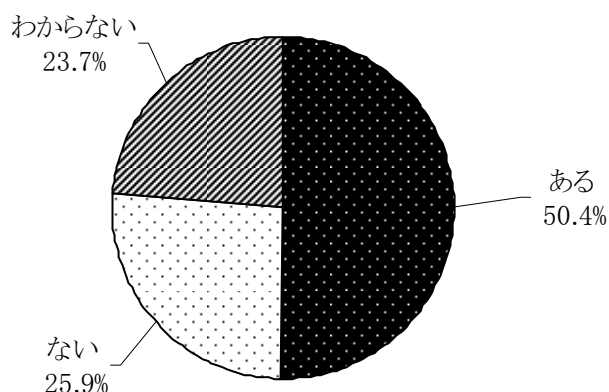


障害福祉に関する言葉のうち、認知度の高かった言葉は、「障害者自立支援法」で 82.2%と圧倒的に多かった。一方、本市の障害者に関する計画である「北九州市障害者支援計画」は 14.8%に止まっており、平成 25 年 8 月に施行が予定されている「(仮称)障害者総合福祉法」については、3.0%と最も低かった。

		回答者数	障害者自立支援法	特別支援教育	ユニバーサルデザイン	障害者基本法	ノーマライゼーション	共生社会	発達障害者支援法
	全体	135人	82.2%	45.9%	41.5%	37.8%	34.1%	29.6%	28.1%
性別	男性	45人	73.3%	28.9%	28.9%	35.6%	28.9%	22.2%	13.3%
	女性	90人	86.7%	54.4%	47.8%	38.9%	36.7%	33.3%	35.6%
年齢別	20歳代	19人	84.2%	42.1%	47.4%	36.8%	47.4%	21.1%	10.5%
	30歳代	38人	73.7%	42.1%	39.5%	31.6%	28.9%	23.7%	23.7%
	40歳代	26人	80.8%	46.2%	38.5%	23.1%	23.1%	26.9%	23.1%
	50歳代	14人	92.9%	64.3%	78.6%	50.0%	57.1%	28.6%	35.7%
	60歳代	23人	91.3%	43.5%	39.1%	60.9%	34.8%	52.2%	52.2%
	70歳以上	15人	80.0%	46.7%	13.3%	33.3%	26.7%	26.7%	26.7%
区別	門司区	22人	77.3%	63.6%	45.5%	36.4%	54.5%	40.9%	40.9%
	小倉北区	25人	88.0%	56.0%	32.0%	28.0%	24.0%	20.0%	24.0%
	小倉南区	28人	75.0%	32.1%	50.0%	35.7%	28.6%	28.6%	25.0%
	若松区	10人	100.0%	50.0%	30.0%	30.0%	30.0%	20.0%	20.0%
	八幡東区	12人	75.0%	41.7%	41.7%	25.0%	25.0%	16.7%	41.7%
	八幡西区	31人	83.9%	38.7%	48.4%	51.6%	35.5%	35.5%	19.4%
	戸畑区	7人	85.7%	42.9%	14.3%	57.1%	42.9%	42.9%	42.9%

		回答者数	国際障害者年	障害者週間	北九州市障害者支援計画	社会モデル	(仮称)障害者総合福祉法	知っている言葉はない	無回答
	全体	135人	28.1%	23.0%	14.8%	9.6%	3.0%	7.4%	2.2%
性別	男性	45人	28.9%	20.0%	15.6%	6.7%	4.4%	11.1%	4.4%
	女性	90人	27.8%	24.4%	14.4%	11.1%	2.2%	5.6%	1.1%
年齢別	20歳代	19人	0.0%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%
	30歳代	38人	7.9%	13.2%	7.9%	10.5%	0.0%	10.5%	7.9%
	40歳代	26人	23.1%	11.5%	7.7%	3.8%	0.0%	11.5%	0.0%
	50歳代	14人	85.7%	50.0%	21.4%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	23人	47.8%	52.2%	34.8%	17.4%	13.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	15人	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	6.7%	13.3%	0.0%
区別	門司区	22人	45.5%	45.5%	27.3%	22.7%	0.0%	4.5%	4.5%
	小倉北区	25人	20.0%	12.0%	12.0%	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%
	小倉南区	28人	25.0%	14.3%	10.7%	10.7%	3.6%	10.7%	0.0%
	若松区	10人	30.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	12人	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	8.3%	8.3%
	八幡西区	31人	22.6%	22.6%	9.7%	3.2%	3.2%	6.5%	3.2%
	戸畑区	7人	28.6%	42.9%	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%

問8 あなたは、日常生活や地域で障害のある方に対する差別・偏見などを感じることはありませんか。



		回答者数	ある	ない	わからない
全体		135人	50.4%	25.9%	23.7%
性別	男性	45人	46.7%	26.7%	26.7%
	女性	90人	52.2%	25.6%	22.2%
年齢別	20歳代	19人	42.1%	31.6%	26.3%
	30歳代	38人	36.8%	23.7%	39.5%
	40歳代	26人	65.4%	15.4%	19.2%
	50歳代	14人	71.4%	14.3%	14.3%
	60歳代	23人	65.2%	30.4%	4.3%
	70歳以上	15人	26.7%	46.7%	26.7%
区別	門司区	22人	59.1%	31.8%	9.1%
	小倉北区	25人	40.0%	36.0%	24.0%
	小倉南区	28人	50.0%	17.9%	32.1%
	若松区	10人	50.0%	30.0%	20.0%
	八幡東区	12人	66.7%	16.7%	16.7%
	八幡西区	31人	41.9%	22.6%	35.5%
	戸畑区	7人	71.4%	28.6%	0.0%

日常生活や地域で障害のある方に対する差別・偏見を感じるものが

ある 50.4%

ない 25.9%

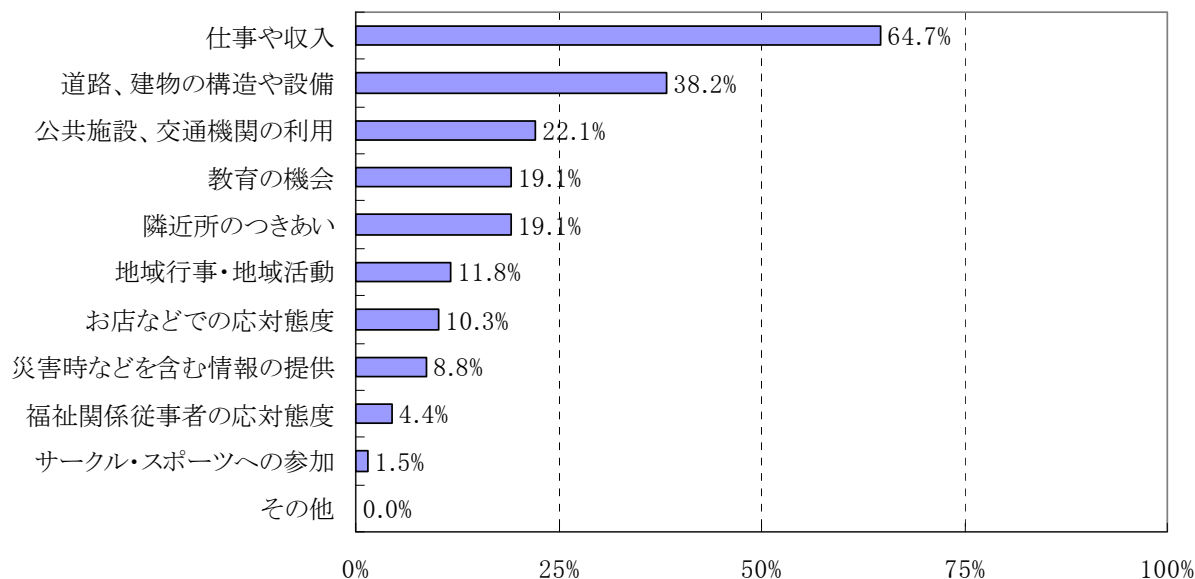
わからない 23.7%

との回答であった。

差別・偏見を感じるがあると回答した方を年齢別で見ると、40歳代から60歳代が高く、60%を超えていた。また、区別で見ると、小倉北区、八幡西区以外の5区で50%を超えていた。

<問8で「1 ある」と答えた方におたずねします>

問9 どのようなところに最も強く障害のある方に対する差別・偏見、または配慮のなさを感じますか。



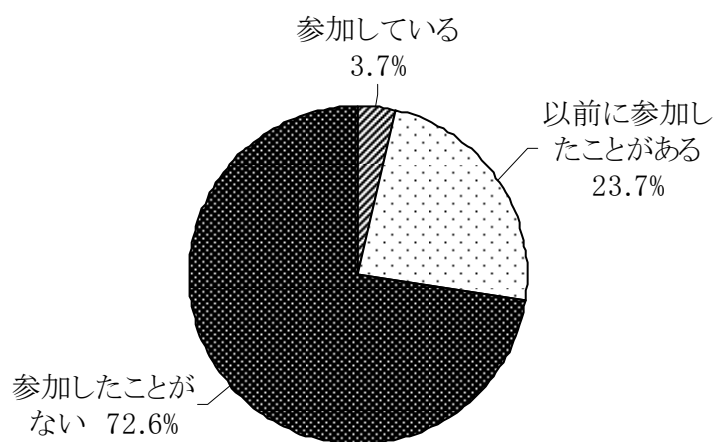
	回答者数	仕事や収入	道路、建物の構造や設備	公共施設、交通機関の利用	教育の機会	隣近所のつきあい	地域行事・地域活動	お店などでの対応態度	災害時などを含む情報の提供	福祉関係従事者の対応態度	サークル・スポーツへの参加	その他
全体	68人	64.7%	38.2%	22.1%	19.1%	19.1%	11.8%	10.3%	8.8%	4.4%	1.5%	0.0%
性別	男性	21人	66.7%	38.1%	19.0%	14.3%	19.0%	14.3%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	47人	63.8%	38.3%	23.4%	21.3%	19.1%	10.6%	8.5%	6.4%	2.1%	0.0%
年齢別	20歳代	8人	37.5%	25.0%	37.5%	12.5%	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	14人	57.1%	42.9%	21.4%	28.6%	21.4%	14.3%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%
	40歳代	17人	70.6%	35.3%	5.9%	17.6%	11.8%	11.8%	5.9%	11.8%	17.6%	0.0%
	50歳代	10人	70.0%	30.0%	30.0%	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	15人	73.3%	33.3%	20.0%	20.0%	20.0%	13.3%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%
	70歳以上	4人	75.0%	100.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
区別	門司区	13人	61.5%	23.1%	38.5%	15.4%	30.8%	15.4%	23.1%	7.7%	7.7%	7.7%
	小倉北区	10人	60.0%	60.0%	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	14人	64.3%	35.7%	14.3%	35.7%	14.3%	14.3%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
	若松区	5人	80.0%	60.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	8人	75.0%	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	13人	46.2%	46.2%	15.4%	0.0%	15.4%	15.4%	15.4%	15.4%	7.7%	0.0%
	戸畑区	5人	100.0%	20.0%	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%

障害のある方に対する差別・偏見または配慮のなさを感じている具体的な内容は「仕事や収入」が最も高く、64.7%となっている。

一方、「サークル・スポーツへの参加」において差別・偏見、配慮のなさを感じている方は非常に少なく1.5%に止まっていた。

【障害のある方に対するボランティア活動について】

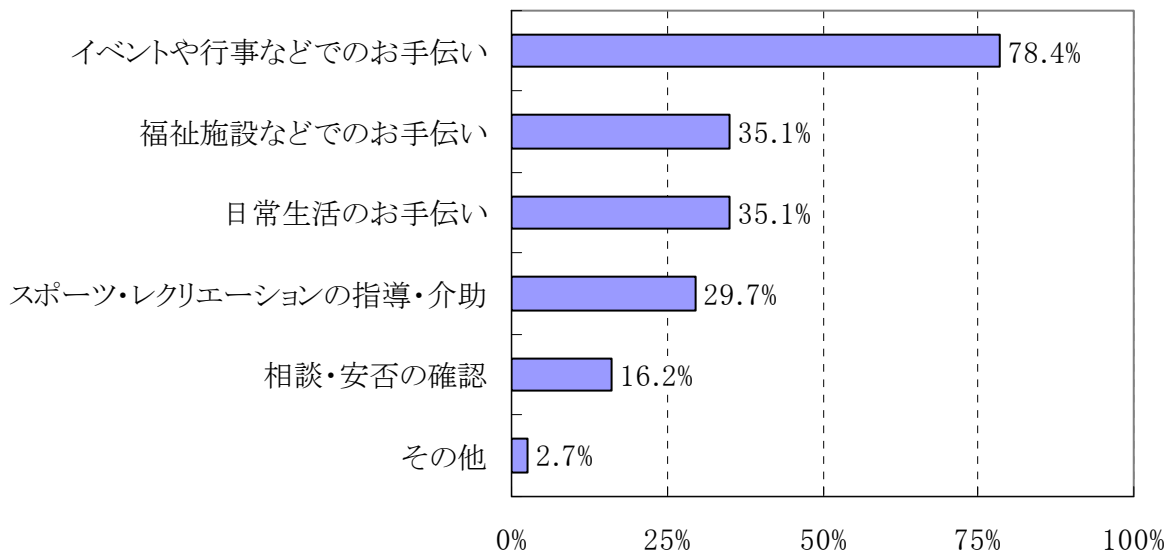
問10 あなたは、障害のある方に対するボランティア活動に参加したことがありますか。



		回答者数	参加している	以前に参加したことがある	参加したことがない
全体		135人	3.7%	23.7%	72.6%
性別	男性	45人	8.9%	22.2%	68.9%
	女性	90人	1.1%	24.4%	74.4%
年齢別	20歳代	19人	0.0%	15.8%	84.2%
	30歳代	38人	0.0%	21.1%	78.9%
	40歳代	26人	0.0%	34.6%	65.4%
	50歳代	14人	14.3%	28.6%	57.1%
	60歳代	23人	8.7%	21.7%	69.6%
	70歳以上	15人	6.7%	20.0%	73.3%
区別	門司区	22人	4.5%	31.8%	63.6%
	小倉北区	25人	4.0%	16.0%	80.0%
	小倉南区	28人	3.6%	10.7%	85.7%
	若松区	10人	10.0%	40.0%	50.0%
	八幡東区	12人	8.3%	25.0%	66.7%
	八幡西区	31人	0.0%	22.6%	77.4%
	戸畑区	7人	0.0%	57.1%	42.9%

障害のある方に対するボランティア活動について、参加したことがない人は72.6%であった。年齢別に見ると、20歳代と30歳代の割合が高く、75%を超えている。一方、参加している人は、非常に少なく3.7%に止まっていた。

<問10で「1 参加している」「2 以前に参加したことがある」と答えた方におたずねします>
 問11 どのようなボランティア活動をしてきましたか。



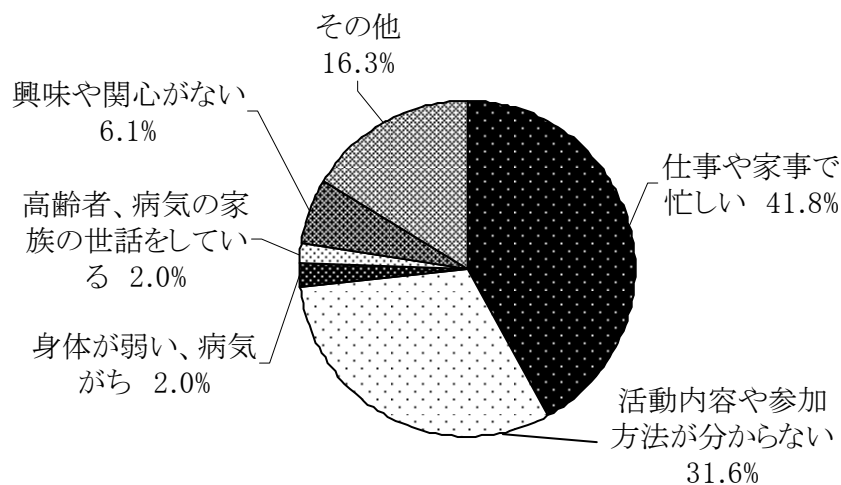
		回答者数	イベントや行事などのお手伝い	福祉施設などのお手伝い	日常生活のお手伝い	スポーツ・レクリエーションの指導・介助	相談・安否の確認	その他
全体		37人	78.4%	35.1%	35.1%	29.7%	16.2%	2.7%
性別	男性	14人	78.6%	35.7%	50.0%	42.9%	28.6%	0.0%
	女性	23人	78.3%	34.8%	26.1%	21.7%	8.7%	4.3%
年齢別	20歳代	3人	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	8人	50.0%	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	9人	88.9%	22.2%	33.3%	33.3%	22.2%	0.0%
	50歳代	6人	66.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%
	60歳代	7人	100.0%	14.3%	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%
	70歳以上	4人	75.0%	50.0%	75.0%	75.0%	25.0%	0.0%
区別	門司区	8人	75.0%	87.5%	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%
	小倉北区	5人	80.0%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	小倉南区	4人	100.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%
	若松区	5人	100.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	4人	75.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	八幡西区	7人	85.7%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%
	戸畑区	4人	25.0%	50.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%

ボランティア活動に参加している、または、以前に参加したことがあると回答した方の、その活動内容は、「イベントや行事などのお手伝い」が最も高く78.4%を占めており、次いで、「福祉施設などのお手伝い」・「日常生活のお手伝い」が35.1%だった。

年齢別に見ると、20歳代及び60歳代で100%、区別に見ると、小倉南区、若松区で100%の方が「イベントや行事などのお手伝い」と回答している。

<問10で「3 参加したことがない」と答えた方におたずねします>

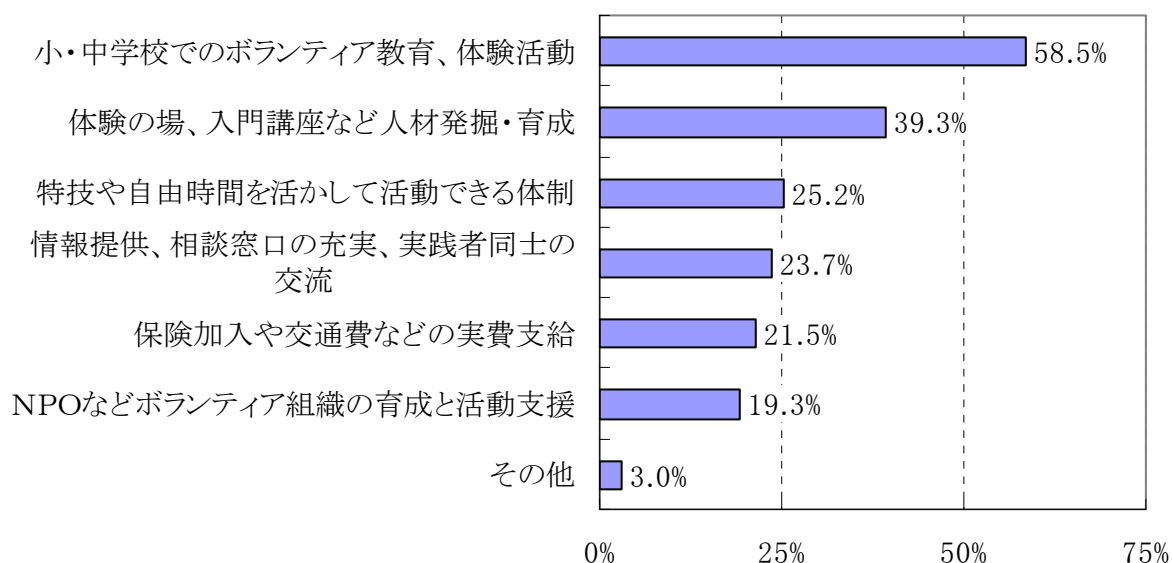
問12 ボランティア活動に参加したことがない理由は何ですか。



		回答者数	仕事や家事で忙しい	活動内容や参加方法が分からない	身体が弱い、病気がち	高齢者、病気の家族の世話をしている	興味や関心がない	その他
全体		98人	41.8%	31.6%	2.0%	2.0%	6.1%	16.3%
性別	男性	31人	41.9%	32.3%	0.0%	3.2%	9.7%	12.9%
	女性	67人	41.8%	31.3%	3.0%	1.5%	4.5%	17.9%
年齢別	20歳代	16人	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%	31.3%
	30歳代	30人	53.3%	33.3%	0.0%	3.3%	10.0%	0.0%
	40歳代	17人	47.1%	17.6%	5.9%	0.0%	5.9%	23.5%
	50歳代	8人	50.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%
	60歳代	16人	25.0%	50.0%	6.3%	0.0%	0.0%	18.8%
	70歳以上	11人	9.1%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%
区別	門司区	14人	50.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%
	小倉北区	20人	15.0%	55.0%	0.0%	5.0%	5.0%	20.0%
	小倉南区	24人	62.5%	25.0%	0.0%	0.0%	4.2%	8.3%
	若松区	5人	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	八幡東区	8人	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%
	八幡西区	24人	37.5%	20.8%	4.2%	4.2%	12.5%	20.8%
	戸畑区	3人	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

ボランティア活動に参加したことがないと回答した方の理由として、「仕事や家事で忙しい」が41.8%で最も多く、次いで、「活動内容や参加方法が分からない」が31.6%であった。
 なお、「興味や関心がない」が6.1%、「身体が弱い、病気がち」及び「高齢者、病気の家族の世話をしている」は2.0%であった。

問13 ボランティア活動を活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。



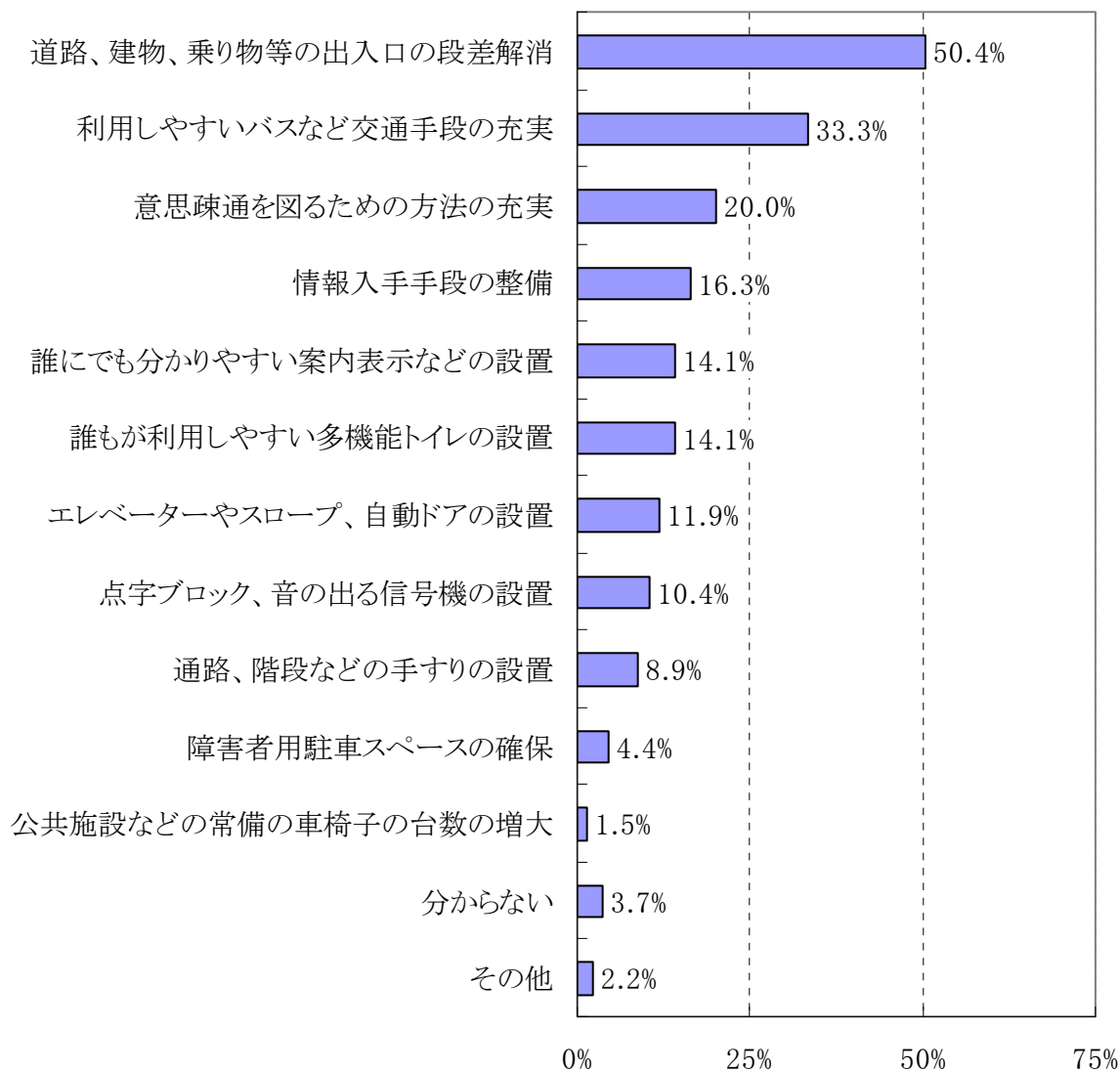
	回答者数	小・中学校でのボランティア教育、体験活動	体験の場、入門講座など人材発掘・育成	特技や自由時間を活かして活動できる体制	情報提供、相談窓口の充実、実践者同士の交流	保険加入や交通費などの実費支給	NPOなどボランティア組織の育成と活動支援	その他	
全体	135人	58.5%	39.3%	25.2%	23.7%	21.5%	19.3%	3.0%	
性別	男性	45人	42.2%	44.4%	26.7%	17.8%	22.2%	28.9%	4.4%
	女性	90人	66.7%	36.7%	24.4%	26.7%	21.1%	14.4%	2.2%
年齢別	20歳代	19人	68.4%	26.3%	15.8%	36.8%	31.6%	10.5%	5.3%
	30歳代	38人	73.7%	31.6%	31.6%	18.4%	7.9%	23.7%	0.0%
	40歳代	26人	46.2%	38.5%	19.2%	26.9%	34.6%	19.2%	3.8%
	50歳代	14人	50.0%	57.1%	35.7%	14.3%	21.4%	21.4%	0.0%
	60歳代	23人	52.2%	52.2%	13.0%	21.7%	26.1%	17.4%	0.0%
	70歳以上	15人	46.7%	40.0%	40.0%	26.7%	13.3%	20.0%	13.3%
区別	門司区	22人	72.7%	27.3%	27.3%	22.7%	13.6%	27.3%	4.5%
	小倉北区	25人	60.0%	24.0%	36.0%	32.0%	20.0%	16.0%	0.0%
	小倉南区	28人	71.4%	46.4%	25.0%	7.1%	17.9%	14.3%	3.6%
	若松区	10人	40.0%	60.0%	30.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%
	八幡東区	12人	33.3%	33.3%	33.3%	25.0%	41.7%	33.3%	0.0%
	八幡西区	31人	51.6%	45.2%	16.1%	35.5%	22.6%	16.1%	3.2%
	戸畑区	7人	57.1%	57.1%	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%

ボランティア活動を活発にするために必要なことは、「小・中学校でのボランティア教育、体験活動」との回答が58.5%と最も多く、次いで、「体験の場、入門講座など人材発掘・育成」が39.3%であった。

また、その他の回答として、「活動内容や参加方法の情報提供」などの意見があった。

【今後、必要な障害福祉施策について】

問14 あなたは、社会のバリアフリー化を進めるため、地域の環境として何を優先して整備する必要があると思いますか。

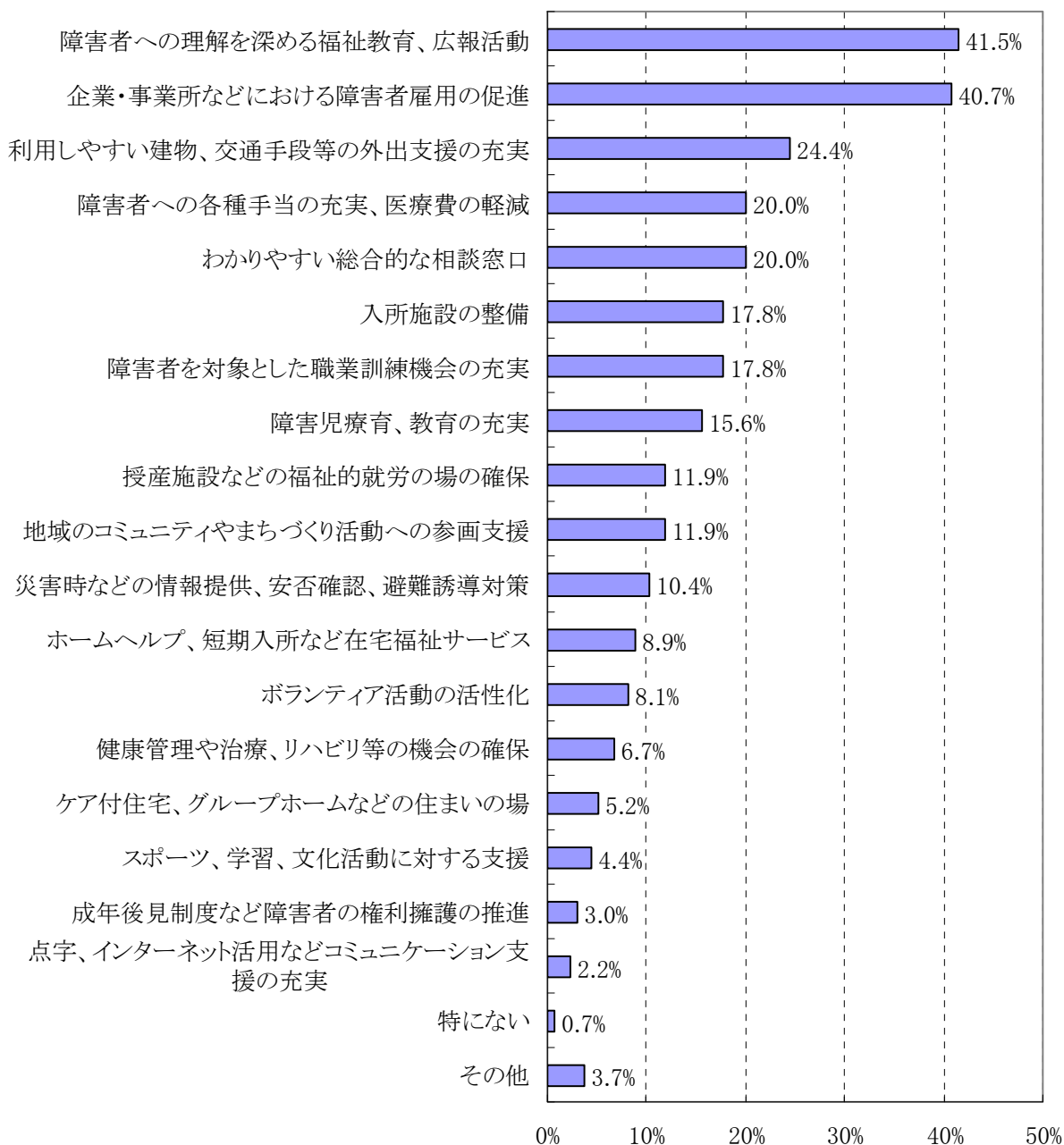


社会のバリアフリー化を進めるため、地域の環境として何を優先して整備する必要があるかの問いに対しては、「道路、建物、乗り物等の出入口の段差解消」が50.4%、「利用しやすいバスなど交通手段の充実」が33.3%、次いで、「意思疎通を図るための方法の充実」が20.0%であった。

		回答者数	道路、建物、乗り物等の出入口の段差解消	利用しやすいバスなど交通手段の充実	意思疎通を図るための方法の充実	情報入手手段の整備	誰にでも分かりやすい案内表示などの設置	誰もが利用しやすい多機能トイレの設置	エレベーターやスロープ、自動ドアの設置
全体		135人	50.4%	33.3%	20.0%	16.3%	14.1%	14.1%	11.9%
性別	男性	45人	44.4%	37.8%	15.6%	20.0%	15.6%	11.1%	4.4%
	女性	90人	53.3%	31.1%	22.2%	14.4%	13.3%	15.6%	15.6%
年齢別	20歳代	19人	63.2%	42.1%	15.8%	15.8%	26.3%	5.3%	15.8%
	30歳代	38人	50.0%	31.6%	15.8%	15.8%	13.2%	18.4%	15.8%
	40歳代	26人	50.0%	34.6%	15.4%	19.2%	11.5%	19.2%	11.5%
	50歳代	14人	50.0%	21.4%	42.9%	7.1%	7.1%	14.3%	7.1%
	60歳代	23人	52.2%	26.1%	17.4%	21.7%	4.3%	8.7%	8.7%
	70歳以上	15人	33.3%	46.7%	26.7%	13.3%	26.7%	13.3%	6.7%
区別	門司区	22人	50.0%	31.8%	22.7%	13.6%	22.7%	13.6%	18.2%
	小倉北区	25人	60.0%	36.0%	24.0%	8.0%	16.0%	4.0%	12.0%
	小倉南区	28人	64.3%	39.3%	25.0%	21.4%	7.1%	10.7%	10.7%
	若松区	10人	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	10.0%	40.0%	10.0%
	八幡東区	12人	50.0%	41.7%	16.7%	16.7%	25.0%	0.0%	25.0%
	八幡西区	31人	35.5%	25.8%	16.1%	16.1%	12.9%	22.6%	3.2%
	戸畑区	7人	42.9%	42.9%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%

		回答者数	点字ブロック、音の出る信号機の設置	通路、階段などの手すりの設置	障害者用駐車スペースの確保	公共施設などの常備の車椅子の台数の増大	分からない	その他
全体		135人	10.4%	8.9%	4.4%	1.5%	3.7%	2.2%
性別	男性	45人	8.9%	13.3%	6.7%	2.2%	4.4%	2.2%
	女性	90人	11.1%	6.7%	3.3%	1.1%	3.3%	2.2%
年齢別	20歳代	19人	0.0%	10.5%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
	30歳代	38人	13.2%	5.3%	0.0%	0.0%	7.9%	2.6%
	40歳代	26人	7.7%	0.0%	11.5%	0.0%	3.8%	3.8%
	50歳代	14人	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	23人	13.0%	26.1%	8.7%	4.3%	4.3%	0.0%
	70歳以上	15人	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%
区別	門司区	22人	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	4.5%	4.5%
	小倉北区	25人	8.0%	12.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%
	小倉南区	28人	0.0%	7.1%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%
	若松区	10人	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	八幡東区	12人	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	31人	19.4%	12.9%	9.7%	3.2%	9.7%	0.0%
	戸畑区	7人	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%

問15 あなたは、今後、北九州市が障害福祉施策を充実させるため、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。



今後、北九州市が障害福祉施策を充実させるため、どのようなことに力を入れていく必要があるかの問いに対して、「障害者への理解を深める福祉教育、広報活動」が41.5%、「企業が・事業所などにおける障害者雇用の促進」が40.7%だった。

また、その他の回答として、「障害者を家族に持つ人のケア」、「一般の会社、学校などへの発達障害への理解を求める。社会の一員だから」という意見があった。

	回答者数	障害者への理解を深める福祉教育、広報活動	企業・事業所などにおける障害者雇用の促進	利用しやすい建物、交通手段等の外出支援の充実	障害者への各種手当の充実、医療費の軽減	わかりやすい総合的な相談窓口	入所施設の整備	障害者を対象とした職業訓練機会の充実	障害児療育、教育の充実	授産施設などの福祉的就労の場の確保	地域のコミュニティやまちづくり活動への参画支援	
全体	135人	41.5%	40.7%	24.4%	20.0%	20.0%	17.8%	17.8%	15.6%	11.9%	11.9%	
性別	男性	45人	33.3%	46.7%	28.9%	17.8%	20.0%	13.3%	26.7%	4.4%	6.7%	8.9%
	女性	90人	45.6%	37.8%	22.2%	21.1%	20.0%	20.0%	13.3%	21.1%	14.4%	13.3%
年齢別	20歳代	19人	52.6%	21.1%	31.6%	42.1%	31.6%	26.3%	21.1%	5.3%	5.3%	26.3%
	30歳代	38人	42.1%	42.1%	28.9%	23.7%	15.8%	18.4%	10.5%	21.1%	0.0%	7.9%
	40歳代	26人	26.9%	38.5%	15.4%	15.4%	26.9%	26.9%	15.4%	19.2%	19.2%	11.5%
	50歳代	14人	50.0%	35.7%	21.4%	28.6%	7.1%	21.4%	14.3%	14.3%	0.0%	21.4%
	60歳代	23人	39.1%	56.5%	21.7%	8.7%	21.7%	4.3%	30.4%	17.4%	26.1%	4.3%
	70歳以上	15人	46.7%	46.7%	26.7%	0.0%	13.3%	6.7%	20.0%	6.7%	26.7%	6.7%
区別	門司区	22人	36.4%	36.4%	27.3%	13.6%	13.6%	13.6%	22.7%	22.7%	18.2%	22.7%
	小倉北区	25人	36.0%	28.0%	24.0%	20.0%	20.0%	28.0%	16.0%	12.0%	16.0%	4.0%
	小倉南区	28人	53.6%	57.1%	25.0%	17.9%	14.3%	28.6%	10.7%	7.1%	14.3%	17.9%
	若松区	10人	20.0%	60.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%
	八幡東区	12人	41.7%	41.7%	41.7%	25.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	25.0%	16.7%
	八幡西区	31人	38.7%	32.3%	19.4%	25.8%	32.3%	12.9%	19.4%	16.1%	0.0%	9.7%
	戸畑区	7人	71.4%	42.9%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%

	回答者数	災害時などの情報提供、安否確認、避難誘導対策	ホームヘルプ、短期入所など在宅福祉サービス	ボランティア活動の活性化	健康管理や治療、リハビリ等の機会の確保	ケア付住宅、グループホームなどの住まいの場	スポーツ、学習、文化活動に対する支援	成年後見制度など障害者の権利擁護の推進	点字、インターネット活用などコミュニケーション支援の充実	特にない	その他	
全体	135人	10.4%	8.9%	8.1%	6.7%	5.2%	4.4%	3.0%	2.2%	0.7%	3.7%	
性別	男性	45人	8.9%	4.4%	17.8%	8.9%	8.9%	4.4%	0.0%	4.4%	0.0%	4.4%
	女性	90人	11.1%	11.1%	3.3%	5.6%	3.3%	4.4%	4.4%	1.1%	1.1%	3.3%
年齢別	20歳代	19人	5.3%	5.3%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	38人	10.5%	5.3%	2.6%	10.5%	5.3%	5.3%	0.0%	5.3%	2.6%	10.5%
	40歳代	26人	11.5%	15.4%	7.7%	3.8%	3.8%	3.8%	7.7%	0.0%	0.0%	3.8%
	50歳代	14人	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	23人	4.3%	8.7%	13.0%	4.3%	13.0%	0.0%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%
	70歳以上	15人	20.0%	6.7%	6.7%	13.3%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	22人	13.6%	9.1%	13.6%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	0.0%	4.5%
	小倉北区	25人	16.0%	12.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	0.0%	4.0%
	小倉南区	28人	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	若松区	10人	0.0%	10.0%	10.0%	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	12人	0.0%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	31人	6.5%	12.9%	0.0%	12.9%	6.5%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	9.7%
	戸畑区	7人	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問16 北九州市の障害福祉施策について、その他ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

63件のご意見をいただきました。主なものは次のとおりです。

- ・ 身体障害者にはお仕事などがあるが知的障害者にもお仕事の機会を与えてあげてほしい。軽度の知的障害の人をもっと理解してほしい。
- ・ 障害者を守るのではなく、共に成長していく、共生していくことを前提として、それぞれの特性を生かした活躍ができるように発展的に考えていきたい。
高齢者や障害者にも重要な役割が果たせると思うので、それを見つけて、本当の意味でのバリアフリー実現を目指したいと思います。
- ・ 障害者用の方（特に車椅子の方）の外出がやはり難しい状態だと思います。バスに乗りたくても、運転手さんがわざわざ降りてきてスロープを出し入れしなければいけなくて、他のお客さんからは冷たい目で見られたりするから、なかなか利用しにくいのではないのでしょうか。私たち健常者の考えを変えないといけませんが、バスの乗り降りをもう少しスムーズにできるようにしてほしいです。
- ・ 障害者が不自由なく過ごせ、親が重荷を少しでも軽くできる福祉サービスを充実してほしい。
- ・ 障害者と一緒にできるイベントの開催。事前に講習会を開く。音楽会、スポーツ、折り紙、歩こう会。
- ・ 福祉用具プラザ北九州から発行されている「すいっち！」という冊子が、北九州空港にて配布されており、空港利用の度に手に取っている。西鉄バスの福祉での配慮面などを特集・紹介していたり、面白い。（北九州市発行の冊子ですか？）もっと、市内で福祉を配慮した施設が増え、このように市民への事例紹介の場など増えれば良いと思う。
- ・ 街で障害者の方に配慮されたスペースなどを見かけると心が温かくなります。今後はできるだけ多くの障害者がでかけたりできる環境を整えなければと思います。
- ・ 他の県より充実しています。療育センターがあるから。
- ・ 私は今まで障害のある方について接する機会がなかったので関心がないといったら失礼ですがそうだと思います。障害のある方と健常者との交流が一番障害者の方がもっと社会に出て働けたり理解を得ることができる手助けになると思うので小学生などの頃から積極的に接する機会を学校などで設けるべきだと思います。

- ・ 障害を持つ方々に対して、差別や偏見があるのは、障害に関する知識がないためだと思います。子供が小さい時から、市民センターや児童館などで障害を持つお子さんと触れ合う機会があれば、大人になっても「障害を持つ方々への偏見」を持たなくなるのではないかと思います。私自身、障害について無知ですし、子供に教えてあげることができないので、交流を通して親子で学べる機会があればいいなと感じます。
- ・ ノーマライゼーションを目標とするのであれば、まず、幅広く市民に障害者の実態、生活環境の状況を体験・認識していただくこと福祉に関心を持っていただくことだと思います。障害福祉の分野は広範囲にわたり、視覚・聴覚・知的・肢体不自由・言語・情緒・学習（LD）障害など障害特性の概念を理解することが重要と考えます。現在、多種多様な「こころの問題」が発生し、人生の発達課題に対しての発達援助と心理的こころのケアも重要な課題と考えます。そのためには、福祉・教育・心理に関しての講座の開催が必要と思います。
- ・ 障害者用駐車スペースは建物の入口近くに確保してほしい。誰にでも分かりやすい案内表示を設置してほしい。近くで分かるのはもちろんのこと遠くからでもわかるものが良い。例：エレベーター、スロープの入口、障害者用駐車スペースなどに。
- ・ 途中で障害者になった場合、住み慣れた所で生活ができる方法を考えて欲しい。
- ・ 子どもの頃からの教育が大事だと思いますので、学校教育の拡充が必要ではないでしょうか・・・。
- ・ もっと相談窓口があれば助かる。
- ・ 社会全体が希薄な今、おせっかいと思われたい様、自然に障害のある方と接する為に障害のある方が何を望まれているのかの情報を得たい。行政でできる事と日常では差があると思うし、お互い人間ですから、何でも当たり前になると難しいのでは・・・と思う。
- ・ 障害者へのボランティア活動をよく言われるが、障害者に馬鹿にされたり、どこまで手を出したら良いのか等、障害者へのボランティア活動する前の事前知識が必要ではないのだろうか。
- ・ 障害者への理解も以前より広がっているように感じられます。小規模作業所（？）で陶磁器を作ったり、パン等の製造販売をしたり、また、盲導犬同伴で食事ができる所などが見られるようになりました。成年後見制度など権利擁護の制度もできましたが、時折トラブルが見られるようです。色々家族の話を聞きますと、子供の将来を心配する声が多いようです。障害者の方が将来も安心して働ける所や制度、または働けなくなった場合に過ごせる所、また制度の確立（法に基づく監督制度の下でのNPOや小規模作業所など）が希望されているように思います。

IV 全体考察

本市では、保健・医療・福祉など総合的な障害福祉施策について、今後、重点的に取り組む内容等を定めた「(次期)北九州市障害者支援計画(平成24年度～29年度)」を今年度中に策定することとしている。

障害福祉施策に関する市民の意見やご要望を伺い、その結果を本計画の基礎資料とするとともに、今後の本市の障害福祉施策の推進の参考とするためにアンケート調査を実施した。

【障害のある方への理解や関心について】

障害のある方に接したり、交流したりした経験がある人は77.0%を占めており、そのうち、車椅子を押したり、列車やバスで席を譲るなどの経験をした人が42.3%を占めていた。

障害者福祉に関心がある人は80.0%を占めており、身内や親しい人に障害者がいること、テレビなどで障害者福祉に関することを目にするなどを目にするなどを主な理由としてあげている。

日常生活や地域で障害のある方に対する差別や偏見を感じる人は50.4%あり、そのうち、仕事や収入面において差別を感じている人が最も多かった。

【障害のある方に対するボランティア活動について】

障害のある方に対するボランティア活動について参加したことがない人が、72.6%と高い水準を示した。その理由として、仕事や家事で忙しいことや活動内容や参加方法が分からないこと、興味や関心がないことなどの回答があった。

【今後、必要な障害福祉施策について】

社会のバリアフリー化を進めるためには、主に道路、建物、乗り物等の出入り口の段差解消や乗りやすいバスなど交通手段の充実が必要と考えている人が多かった。

北九州市の障害福祉施策を充実するために、障害のある方への理解を深める福祉教育、広報活動、また、企業・事業所などにおける障害者雇用の促進を考える人が多かった。

【まとめ】

- 障害のある方に接したり、交流したりした経験がある人、また、障害福祉に関心がある人は多いが、ボランティア活動を通して障害のある方と接した人は少なく、今後は、ボランティア活動を促進するための施策が求められる。
- 仕事や収入面において、障害のある方への差別や偏見を最も感じている点や本市の障害福祉施策を充実するための取り組みとして、障害者雇用の促進を考えている人が多かったことから、就業面においても更なる取り組みが必要である。
- 障害福祉施策を推進するためには、道路等の段差解消や障害者の理解を深めるための活動など、ハード・ソフト両面を整備していくことが重要であると考えられる。

【市政モニターに関すること】

市民文化スポーツ局市民部広聴課(TEL:582-2525)

【アンケートに関すること】

保健福祉局障害福祉部障害福祉課(TEL:582-2424)